



奉仕しよう

みんなの人生を豊かにするために

広島東南ロータリークラブ

2022年6月27日（第2834回例会）

例会日 月曜日 ANAクラウンプラザホテル広島 TEL241-1111

事務所 リーガロイヤルホテル広島13階 TEL221-4894

会長 要田 昭治 幹事 森原 弘昌

6月は「ロータリー親睦活動月間」です。

6月ロータリーレート 1ドル= 127円



本日の例会

18:30 点 鐘
ロータリーソング「R-O-T-A-R-Y」
来客紹介 (親睦委員会)
会長時間 (要田会長)
幹事報告 (森原幹事)
委員会報告・同好会報告・S.A.A
点 鐘

会長時間

幹事報告

～懇親会～

18:45 開会 司会: 赤川会員
開会挨拶 (要田会長)
乾杯 (佐野会長エレクト)
食事歓談
アトラクション
閉会挨拶 (岸本副会長)
20:30 ロータリーソング「手に手つないで」

本日のプログラム

「最終夜間例会・懇親会」

次回例会（7月4日）

「会長・理事役員就任挨拶」

2022-23年度 佐野庸子会長、理事役員

会長退任のご挨拶

会長 要田 昭治



水無月（みなずき）陰暦6月も終わろうとしています。

月日の経つのは本当に早いものです。コロナ禍による制限下での就任から早や一年が過ぎました。思い起こせば、クラブの活動はいかにすべきか、と日替わり七変化するコロナ状況に振り回され悩ましかった日々を思い出します。

コロナ感染者数も減少傾向となり、緊急事態宣言も明けましたが、まだまだコロナによる災禍の中ではありますが、街にも賑わいが戻ってきております。終息も近いのではないのでしょうか。是非そうなってほしいものです。

ロシアによるウクライナへの軍事侵攻はすでに三ヶ月を過ぎようとしています。收拾の目処もたらず、この世界的大問題に、私達が出来ることはないのでしょうか。身近な所から、小さなことでもいい、何か出来ることを考えていかなければと思っています。

そんな中でのクラブ活動も、例年通りとはいきませんでした。が会員の皆様のご尽力のお陰で、ほぼ予定通りに完遂することが出来ましたことをご報告いたします。理事役員の方々、会員の皆様、本当にご苦労さまでした。心より御礼申し上げます。

最後になりましたが、この一年間、会長職として不行き届きな点多々あったかと存じますが、ロータリアンの寛容さをもって、お許し頂きたく存じます。

大変お世話に相成り、ありがとうございました。

皆々様のご健勝とご多幸にあわせて、次年度佐野会長年度の益々のご発展をご祈念申し上げ退任の挨拶といたします。

他クラブ例会変更・休会情報

6/27（月） 広島中央RC・広島廿日市RC
6/28（火） 広島西南RC
6/29（水） 広島東RC・広島陵北RC
6/30（金） 広島北RC・広島西RC
広島安佐RC

今後の予定

○臨時総会

と き 7月11日（月）例会時
ところ 例会場
議 案 ①2021-2022年度事業報告
②2022-2023年度事業計画

※予告 ○事前クラブ協議会

と き 8月8日（月）例会終了後～
ところ ANAクラウンプラザホテル広島

前回2022年6月20日例会

「新入会員卓話」

横川真也会員



吉岡さん、山下さんのご推薦を受け、昨年7月に東南ロータリークラブへ入会させていただきました横川です。今回の卓話は、昨年3月末で6年間駐在しておりましたハンガリーの東西冷戦終結に対して及ぼした影響について、取り上げさせていただきました。

卓話の内容をここでまとめるのも良いのですが、これは東西冷戦終了に関わる歴史書、ウェブの記事などで詳細確認できますので、ご興味がある方はご自身で調べていただくこととし、この場では、なぜハンガリーが表面的には有刺鉄線維持に経済的な理由があったにせよ、ワルシャワ条約機構結束の象徴である鉄のカーテンを自ら撤去し、更には東ドイツ国民の自由越境を認めるという暴挙（？）に出たのかを、個人的な意見として述べてみたいと思います。

あくまで私見ですので、反対意見などございましたら、是非当方にご連絡下さい。

さて、1980年代後半のハンガリーは日本の約25%の国土で、人口も1千万人に満たない小国ですが、この国を取り囲む国はソ連、チェコスロバキア、オーストリア、ルーマニア、ユーゴスラビアであり、いずれもハンガリーを遥かに上回る大国です。これらの大国に踏みつぶされないために、如何に外交的に立ち回るかが、小国ハンガリー存続の為の最大の課題だったと思います。ソ連が強い時代は良くも悪くもソ連の庇護のもと、ワルシャワ条約機構の中で、生きていくしかありませんでしたが、80年代に入り、ソ連が弱体化すると、ソ連の保護は期待できず、逆にいつ何時隣国に侵略されかねないという状況だったと考えます。

この当時、ハンガリーがもっとも警戒していたのは、勿論ソ連でしたが、有刺鉄線の撤去に関する黙認を見て、過去のような強制力は行使しないと踏み、東ドイツを中心とした従来型共産主義に固執する国々を直接の脅威とみなしたと思います。

ここからがハンガリーのしたたかさですが、東ドイツ国民が汎ヨーロッパピクニックをきっかけに難民化したことを最大限に利用し、単なる難民による経済負担の軽減だけではなく、国境開放という土産を西ドイツに持参することで、恩を売ると同時に、東ドイツ国民に自由渡航という希望を与えることで、東ドイツ内政を混乱化させることまで意図したのではないのでしょうか？そう思うと、ハンガリーの深謀遠慮な外交手腕が見えてきます。勿論、私の勝手な思い込みかもしれません。

但し、現在極右と呼ばれ、EU内で異端児扱いされているハンガリーのオルバン政権を見てみると、現在は7か国にまで増えた周辺国（オーストリア、スロベニア、セルビア、クロアチア、ルーマニア、ウクライナ、スロバキア）へのけん制を常に考えているであろうことは、手に取るばかりです。EU、NATOに所属するハンガリーではありますが、いわゆる東側諸国と国境を接している以上、東西のいさかいが起こった時に、最初に巻き込まれるのがハンガリーという考えのもと、例えソ連時代の悪夢は消えないにせよ、東側とも関係も維持し、西側諸国の犠牲にされないという国家観が隙間見える気がします。

こうしてみると日本は海に囲まれているとは言え、中国、ロシアなどの大国が、接してはいませんが、目と鼻の先の距離にいて、決して油断はできない環境にいるのではと思えます。歴史的な背景から、日本がハンガリー同様の生き方はできなのだと思いますが、小国のしたたかな外交という点は学ぶべき点は多々あると思っております。

2021-2022年度 理事役員 退任挨拶



直前会長 米川 晃

要田年度は会長方針「もっと行動し・もっと成長する」に基づいて、会員の皆様がロータリーの理念をしっかりと実践され、少しずつ経済活動の回復の兆しを感じられる中、それぞれ自分なりのロータリー活動を行われた1年であったと思います。この1年間無事に務めさせて頂くことができましたことを皆様に心より感謝申し上げます。



会長エレクト 佐野 庸子

コロナ禍にもかかわらず、要田会長方針を基に、素晴らしい実績を残されました事に敬意を表します。仙台南RCとの友好クラブ締結や、被爆樹木委員会設立、IMの実施など、要田会長の強いリーダーシップと理事役員及び会員皆様の一致団結の力があってこそと思います。次年度も引き続き、皆様のご協力を宜しくお願い致します。



副会長・会員増強 菅 富誉樹

今年度もコロナ禍にて活動を制限されましたが、その中でも会員数の純増も何とか実現でき、計画に近い活動を実施することができました。仙台南RCとの特別友好クラブの締結という、クラブの歴史に残る年にもなりました。ひとえに、会長・幹事ほか理事役員の熱意と、会員皆様の御協力の賜物と感じております。無事、要田丸が帰港できましたこと、誠にありがとうございました。次年度以降の更なる充実を願いまして退任の挨拶とさせていただきます。



副会長・クラブ管理運営 岸本 秀樹

クラブ運営管理を担当しました。本年度もコロナ禍でのクラブ運営となりましたが、出席担当・プログラム担当・親睦担当の各リーダーをはじめ各委員に活躍していただき無事に運営できたと思います。最後に、会員の皆様のご協力・ご支援に心より感謝を申し上げて退任挨拶と致します。



幹事 森原 弘昌

今年度もコロナ禍で運営に悩まされましたが、皆様には、いろいろな場面でご指導を頂き、微力ながら幹事という職を全うできましたのも、皆様のご協力・ご指導があってこそと、実感致しております。本当に有難うございました。

支えて頂きました会長はじめ理事役員の皆様、各担当リーダーはじめ会員の皆様、副幹事のお二人、事務局の高谷さんに、心より感謝申し上げます。1年間ありがとうございました。



広報・記録 山仲 巖

今年度も引き続きコロナ禍のなかではありましたが、広報記録委員会は、各リーダーはじめ委員皆様のご尽力と事務局のご協力により計画に沿った活動ができました。

委員会委員のみなさまの皆様には深謝申し上げます。更なるウェブサイトの活用を会員の皆様をお願い致します。一年間ありがとうございました。



奉仕プロジェクト 古本 由美

本年度も、コロナ禍で従来のような自由なロータリー活動は大きく制限されましたが、不自由な中、逆に知恵をだし、工夫を重ねて新しい形で事業を行えたと思います。

これもひとえに各リーダーのご尽力と会員の皆様のご協力のおかげです。見正リーダー、吉田リーダー、角田リーダー、佐々木リーダーお疲れ様でした。

奉仕活動を楽しみ積極的にご協力頂きました会員の皆様、本当にありがとうございました。



財団関連活動 中村 伸弘

ロータリー財団並びに米山奨学会の寄付は目標を達成することができました。会員の皆様のご協力に心より感謝いたします。

米山奨学生のアンさんは2年目に入り、2023年3月までの奨学期間が残っています。

カウンセラーの鹿瀬会員共々よろしくお願い致します。



会計 神田 敏治

会長方針に従い、委員会活動は健全に運営されるよう予算編成を行いました。しかし本年度も昨年に引き続きコロナ禍の影響を受け、委員会活動が十分に実地できませんでした。その中で実地された各委員会活動の予算の執行は順次に行かされ適正な運営活動は出来たと思います。

コロナも少し落ち着いていますので、次年度は十分な委員会活動が出来ますよう願っています。引き続き会員増強を推進して下さい。



S.A.A. 吉岡 民登

今年度も、新型コロナ感染防止対策中心の例会となってしまいましたが、高西リーダーのリーダーシップ、田上委員の愉快的トークをはじめ、メンバー皆さんのチームワークのおかげで、本年度S.A.A.活動がほぼ目標通りに出来ました。ニコニコ箱へは会員皆さまに快く出宝していただき有難うございました。例会も和やかにスムーズに進行出来ました。皆様のご協力に感謝申し上げます。

2021-2022年度 理事役員 退任挨拶



副幹事 守下 康弘

本年度 要田会長をはじめ理事役員の皆さま、森原幹事のご指導のもと、また渡邊さん・高谷さんのご協力により副幹事を務めることが出来ました。

今期はコロナでの中止や延期、後半では仙台への遠征やインターシティミーティングと色々な行事があり 沢山の貴重な経験・勉強をさせて頂きました。そして 何より会員の皆さまと交流させて頂けたことに嬉しく思っております。

会員の皆さま 1年間 ありがとうございました！



副幹事 渡邊 直樹

この1年間、例会運営等に末席でかわらせていただく中で、クラブの運営や和気藹々とした雰囲気、当たり前のものでなく、諸先輩方が築いてきた長い歴史と日々のご尽力の賜物であることを、学ばせていただきました。

力不足で失敗ばかりでしたが、いつも優しく見守りご指導いただいた、全ての皆様にただただ感謝するばかりです。

この1年間の経験を活かし、今後、クラブの活動に積極的に参加していければと思います。

ロータリーの友を読もう！ 6月



「ロータリーの友」6月号18ページの平塚RC鈴木会員の「人類最後の戦争になりますように」を読みました。

10歳の息子さんが「戦争っていまだに本当に起こるんだね」という一言に心が震えました。戦争は起こるのでしょうか、それとも誰かが起こすのでしょうか。いったん始まってしまうと昨日まで普通人たちが互いに相手の兵士のみならず一般の市民をも殺したり傷つけたりする状況に追い込まれてしまいます。

大井 克元

この度のロシアによるウクライナ侵攻は国際関係やユニバーサルな歴史感を無視したある一人の戦争指導者による個人的歴史観、価値観などによって引き起こされた戦争のように私は思わずにはいられません。この様な戦争に巻き込まれた両国の罪なき人々の苦しみが一瞬も早く終わるよう願います。

なにが正義かは人それぞれの考えた方あるとは思いますが必ず天が不正義に罰をお与えくださると思います。

6/20 次年度第2回クラブアッセンブリー開催

報告：次年度副幹事 高西哲郎

6月20日(月)ANAクラウンプラザホテルにおきまして、次年度(2022-2023年度)第2回クラブアッセンブリーが開催されました。

次年度理事役員、各委員会正副リーダー総勢25名参加のもと、佐野会長エレクトより開会のご挨拶をいただいた後、担当理事役員及び各委員会リーダーより次年度方針と事業計画について発表をいただきました。

次年度を直前に控え、熱意を感じられる発表内容からは、理事役員及び各委員会リーダーが次年度に向けて万全の準備をされている様子がうかがわれました。

次年度収支予算の確認と行事スケジュールの確認を行い、古本次年度副会長に挨拶をいただき閉会となりました。



6月20日 累計1,531,000円(本例会 18,000円)

ニコニコ箱

○要田昭治:6月第3例会 沢山のご出席ありがとうございます。(1□)

○板本敏行:要田会長に著書「外科医の独り言」を追加購入頂きました。代金をニコニコ箱に寄付させていただきます。(12□)

○富部秀司:両肩を痛めて、2年近くゴルフから遠ざかっていました。優勝は4~5年位前に「あみだくじ」で連続2回しました。⇒奇跡 苦手な八本松で優勝出来るまでになりました。感謝です。(3□)

⇒とぼっち 脇舩賢治(1□)「同月に麻雀例会とゴルフ例会の両方での優勝経験者は、脇舩会員です」と披露されました。

○中畝将博:妻の誕生日にきれいなお花を頂きました。ありがとうございました。(1□)